

輝け！天神山っ子Ⅱ

Ⓟ



令和5年6月29日(木)

コミュニティスクール春日市立天神山小学校

NO10

校長 月原 浩

令和5年度 CS 春日市立天神山小学校 重点目標

「仲間」とつくる 素敵なお日

～気づき・考え・行動する～

修学旅行後に思うこと・・・



6年生は、先々週、修学旅行を終え、6月26日(月)に、報告会まできちんと終わることができました。先週、子どもたちの学習の様子を見ながら、ふと思うことがありました。

「ありがたいな」と。ありがたい。漢字で書くと「有難い」とも表します。

「有ることが難しい」めったにない貴重なことと、とらえることができます。

朝から健康づくりに取り組む姿。プールで命を守る学習に取り組む姿。平和学習に1年生から取り組む天神山っ子。なぜ音が伝わるのか不思議を追求する3年生。自分のマイナスな感情をコントロールする方法を模索する5年生。休み時間に元気いっぱい遊ぶ姿・・・

本当に「有難い」ことだと思いました。「有難い」の言葉の反対は「当たり前」です。日常生活を送っていると、多くのものが「当たり前」になってしまいがちです。「毎朝目が覚めること」「ご飯を食べられること」「スイッチを押せば電気がつくこと」「お風呂に入ることができること」などです。私たちは、災害など非常時になってはじめて、その「有難さ」を悟ることができます。

今、この瞬間にも、世界の国々や地域では、戦争や紛争で苦しんでいる人達があります。連日取り上げられているのはウクライナへのロシア侵攻ですが、他にもアフガニスタン紛争、シリア内戦、リビア内戦、イエメン内戦・・・このような紛争地帯では常に死と隣り合わせの日々であり、食糧、病気や感染症、衛生問題なども発生しています。上の写真のように「当たり前」に生活することができない状況です。

私たちも、この「有難い」状況を守るために各々の立場でできることを行っていく必要があると思いますが、昨年度の校長だよりでも書きましたが、広い広い大宇宙から見れば、とても小さな小さな1つの星に乗って、ともに旅をしている仲間です。AIという人工知能も話題になっていますが、人類の叡智を結集して、地球上から悲しい争いごとが無くなることを切に願っています・・・